

平成30年5月11日

第21回「信用金庫社会貢献賞」の受賞活動決まる！  
— 「とましん結婚相談所（LLB会）」 —  
苫小牧信用金庫（北海道）が会長賞に

一般社団法人全国信用金庫協会

全国信用金庫協会（会長：佐藤 浩二）が実施している、信用金庫業界の顕彰制度第21回「信用金庫社会貢献賞」の受賞信用金庫、個人受賞者がこのほど決定いたしましたので、お知らせします。

第21回「信用金庫社会貢献賞」受賞活動

| 賞の種類                | 信用金庫名（都道府県）               | 受賞活動名                 |
|---------------------|---------------------------|-----------------------|
| 会長賞                 | 苫小牧信用金庫（北海道）              | とましん結婚相談所「LLB会」       |
| Face to Face 賞      | 東京ベイ信用金庫（千葉県）             | 地域との協働による金融・キャリア教育    |
|                     | 西京信用金庫（東京都）               | 防災力向上で安心・安全のまちづくり     |
|                     | 尼崎信用金庫（兵庫県）               | 環境表彰制度「あましんグリーンプレミアム」 |
| 個人賞                 | 長野信用金庫（長野県）<br>高橋 弘一 氏    | ふるさと「結い」の心を次世代へ       |
|                     | 大阪シティ信用金庫（大阪府）<br>櫻井 達哉 氏 | 「枚岡神社秋郷祭」を通じた文化伝承     |
|                     | 鹿児島信用金庫（鹿児島県）<br>有田 貴紀 氏  | マジックショーを通じた地域貢献活動     |
| 地域活性化しんきん<br>運動・優秀賞 | 大地みらい信用金庫（北海道）            | 広域連携で地域の魅力を世界へ発信      |
|                     | 川崎信用金庫（神奈川県）              | 知的財産活用による中小企業支援       |

本賞は、地域に生まれ、地域と共に歩む信用金庫が、様々な分野で地域貢献・社会貢献活動を実践している真摯な姿を多くの方々に知っていただくとともに、地域における存在価値を一層高めていくことを目的に、平成9年に創設いたしました。このような、地域に根ざした永年にわたる信用金庫の地道な活動に光を当て、これを顕彰することは大きな意義があると考えております。

今回は、昨年10月から12月までの募集期間に、167信用金庫・4関係団体から570件の応募がありました。その活動内容は多岐にわたっており、環境保全や社会福祉、金融教育支援、高齢化社会への対応のほか、東日本大震災からの復興支援、地域活性化への取り組み、次世代経営者の育成、取引先の販路拡大策など、どれも地域に根ざした信用金庫の不断の努力と叡智を結集したものとなっています。選考委員会での厳正な審査の結果、会長賞をはじめとする受賞6信用金庫、個人賞受賞3名の活動が決定いたしました。なお、来る6月20日（水）開催の第142回全信協通常総会において表彰式を執り行う予定です。

-----  
 <参考> 第21回「信用金庫社会貢献賞」応募状況

地区別応募状況

| 地区名  | 金庫・団体数 | 応募件数 |
|------|--------|------|
| 北海道  | 9      | 30   |
| 東北   | 13     | 38   |
| 関東   | 35     | 87   |
| 東京   | 13     | 46   |
| 北陸   | 8      | 18   |
| 東海   | 29     | 129  |
| 近畿   | 129    | 105  |
| 中国   | 12     | 49   |
| 四国   | 4      | 6    |
| 九州北部 | 7      | 17   |
| 南九州  | 13     | 39   |
| 団体   | 4      | 6    |
| 合計   | 171    | 570  |

活動分野別応募状況

| 活動分野      | 応募件数 |
|-----------|------|
| 地域社会活動    | 366  |
| スポーツ      | 41   |
| 社会福祉      | 27   |
| 芸術・文化     | 23   |
| 教育        | 45   |
| 環境        | 44   |
| 健康・医学     | 5    |
| 国際交流      | 0    |
| 史跡・伝統文化保存 | 6    |
| 災害救援      | 13   |
| 学術        | 0    |
| 合計        | 570  |

本件についてのお問合せは、全国信用金庫協会 広報部 小曾根、自在丸、坂本(真)、永石 (TEL.03-3517-5722 FAX.03-3517-5792)までお願いいたします。

## 第21回「信用金庫社会貢献賞」の選考総評と受賞活動の概要

### 1. 選考総評 信用金庫は地域の活力を創る伴走者

選考委員 高橋陽子氏（公益社団法人日本フィナンソロピー協会 理事長）

地方創生、地域活性化といわれて久しい。政府や各自治体も、さまざまな施策を打ち出しているが、都会への社会資源の偏在はまだまだ終わりそうにない。そうしたなかで、全国の信用金庫の役割も、従来の福祉・環境・教育・芸術などと、縦割りの社会貢献を超えて、実際の課題解決、新たな価値創造に向けて、元気な地域づくりのための試行錯誤がなされており、地域金融としての使命と自負を強く持つておられることがうかがえる。本賞が、信用金庫の地域貢献として、時代の変化、地域ニーズの変化に応えるものであることを広く共有し、他金庫への波及効果を期待して、今回も選考にあたらせていただいた。

会長賞の苫小牧信用金庫「とましん結婚相談所」には驚き、そして膝を打った。「金融機関が結婚の仲人？」と思う人は多いと思う。しかし、子育て、介護など、本来個人的な事柄を社会化せざるを得ない現実がある。もはや、現代社会、特に地方では出会いや結婚への道筋も、お節介（節度ある介入）が必要になってきていることは、昨今の非婚化・晩婚化を見ても納得するものである。信用金庫は、地域住民の生活に深く浸透し、かつ信頼も厚い。仲人の組織化は時代の最先端に行くものかもしれない。明るい未来のための人財づくりに期待したい。

Face to Face賞の東京ベイ信用金庫の金融経済教育は、小学生から社会人まで幅広い年齢層を対象に、NPOや行政・学校など他機関との協働で実施されている。この取り組みはキャリア教育にも通じ、地域交流を創り出すものとしての意義も大きい。

西京信用金庫は東京都新宿区を拠点としていることから、災害時の不安も大きい地域であり、同金庫では、本業における防災対策商品の販売だけではなく、「街づくり・防災プラザ」を設置したり、商店街や自治会など少数単位で防災セミナーを数多く開催し、きめ細かく防災への準備支援を継続している。非常時に避難や防災が機能するためには、日常的な意識啓発やネットワークづくりが不可欠であることを考えても、本気度が伝わってくる活動である。

尼崎信用金庫の「あましんグリーンプレミアム」は、環境に関する技術やアイデアへの顕彰事業であるが、対象が企業や団体、学校などと幅広く、応募とその共有が環境改善への啓発や取り組みへのヒントになり、地域住民と共に創る環境保全事業ともいえる。

個人賞では、長野信用金庫・高橋弘一さんの「結い」の長年にわたる活動が、日本の助け合い・支え合いの良き伝統を次世代に継承すべきものとして、特筆すべきものである。

大阪シティ信用金庫・櫻井達哉さんの協力する「枚岡神社秋郷祭」は、故郷を愛し、誇りに思う人たちの努力による継承であり、子どもたちにとってのかけこいいいロールモデルとなっているのではないだろうか。

鹿児島信用金庫・有田貴紀さんのマジックショーは、趣味の域を超えた腕前で、地域の人たちの期待に応え、プロ並みのショーを年間20回も行っている。ワーク・ライフ・バランスを地で行く頼もしい信金マンとして称えたい。

地域活性化しんきん運動・優秀賞は2金庫。大地みらい信用金庫は、根釧地域の広域連携を仕掛け、食をはじめとした文化・自然などの地域資源を広く発信している。異分野に横串を刺し、地域まるごとで元気になろう、と、プロデューサー役として骨太の事業を展開していることが高評価を得た。他地域にとってもヒントが満載の事業だと思う。

川崎信用金庫の知的財産交流会は、まさに昨今の課題を先取りしたもので、大企業と中小企業の協働で、地域の活性化のために不可欠な事業として、きらりと光る。

いずれの活動も、地域の課題を熟知し、その解決に向けて骨太な貢献を目指しており、さらに次世代のための住みよい元気な地域づくりに視座を広げ、信用金庫の特徴を存分に生かしたものとして、心から敬意を表したい。そして、全国の信用金庫の皆さまも、ぜひ、お互いにそれぞれの活動を参考にしたり、協力し合いながら、元気で活力ある地域づくり、金庫づくりに生かしていただけたらうれしい限りである。

## 2. 受賞活動の概要

### 【会長賞】

#### 苫小牧信用金庫（北海道）／とましん結婚相談所「LLB会」

地域や男女を問わず、晩婚化・未婚化、少子化が大きな社会問題となっている昨今、多くの若者から聞こえる「出会いの機会がない」という声に応えようと、平成24年11月、苫小牧信用金庫は商工会議所と連携し、第1回婚活パーティーを開催。これを機に、効果的で有意義な出会いの場を提供するため検討を重ね、25年6月、「とましん結婚相談所（LLB会）」を発足した。

LLB会の主な活動は、婚活パーティーの開催のほか、各種イベント、お相手のご紹介、お見合い、交際から結婚までをさまざまな形できめ細やかにサポートすること。地域密着の信用金庫だからこそ、周囲からの信頼度も高く、現在の会員数は484名にもなった。

発足から約5年。婚活パーティーは12回、お見合いは426回開催され、結婚準備中のカップルを含む成婚数は36組にもなる。結婚した二人が家族として地域で新生活を始めることは、若い世代の人口増加にもつながる。また、成婚後は、各種イベントの案内、近況の聞き取り、それぞれのライフステージに応じた相談やアドバイスを行うなど、新しく生まれた「家族」のサポーターとして、将来にわたり親交を続ける「とましん」を目指している。

また、この取り組みに共感し、地域活性化を目指す道内の旭川信用金庫と帯広信用金庫も、縁結びの活動を開始した。

出会いの場を提供することから始まった、LLB会による幸せづくりの小さな種まき。その種は地域で芽吹き、新しい家族となって、それぞれの場所でいきいきと大きな花を咲かせている。

---

### 【Face to Face 賞】

#### 東京ベイ信用金庫（千葉県）／地域との協働による金融・キャリア教育

東京ベイ信用金庫は、相互扶助・非営利の特性を活かしつつ、取引先の規模やニーズに応じた地域密着型金融の継続的な取り組みを心掛けてきたが、より幅広い年齢層に働きかけるため、社会貢献活動の柱に「金融経済教育」を掲げて活動を開始した。

地元県立工業高校を手始めに、平成20年度から開講した学校数は、この10年で延べ60校、受講学生総数は6,148人に及ぶ。関東財務局や関東経済産業局、千葉県、千葉県警察、千葉縣市川市、NPO法人などの団体と協働し、学生だけでなく新入社員向けにもセミナーなどを開いてきた。具体的には小学生向け「町探検・仕事調べ」「児童職場体験」、中学生向け「職場体験」、高校生向け「金融キャリア教育講義」、大学生向け「金融講座」、商工会議所主催の社会人向け新入社員教育講習会における「金融経済講義」など、多岐にわたる。社会人には、クレジットカードや携帯電話料金の支払遅延など実生活にあり得るケースを取り上げ、信用悪化に陥らないよう注意を促す場面も。学生には、社会生活を営むうえで不可欠な金融知識を習得でき、講義のなかで同金庫新入職員や出身OB・OGによるアドバイスから今後のキャリア形成を考える貴重な機会にもなっている。このような実績が高く評価され、関東財務局からは地域密着型金融顕彰として2年連続で表彰された。

この講座がきっかけで信用金庫に興味を抱き、同金庫に就職した職員もいる。地域と協働して地道に続けてきた金融経済教育が、信用金庫の存在をアピールするとともに、地域内外を「つなぐ力」のハブとなって実を結び始めている。

## 【Face to Face 賞】

### 西京信用金庫（東京都）／防災力向上で安心・安全のまちづくり

地域の活力を根こそぎ奪う地震や異常気象による災害から地域を守るため、防災力向上に取り組む西京信用金庫は、平成25年9月1日（防災の日）に、本部1階に防災拠点『街づくり・防災プラザ』を開設した。

災害時における近隣の緊急避難所、避難場所などを記した近隣防災マップを掲示。展示コーナーでは、貸金庫や防災用品の展示、建物耐震化における各区の助成制度のパンフレットを用意し、防災に関する質問や複雑な手続きなどの相談にも応じている。

防災対策の必要性やその効果を周知するため、取引の有無や人数にかかわらず、各地で防災対策説明会を開催し、これまでに約290回、延べ1万6千人の方々に防災の大切さを伝えてきた。

各地での説明会のほか、ラジオや新聞での啓蒙活動、個別の耐震診断、耐震改修、建て替えなどの相談にも応え、金庫担当者がわかりやすく解説する。また、「防災定期預金」により、預かった総額のうち一定相当額を西京信用金庫が負担し、現在3,300万円、約2万人分の防災用品を備蓄しており、災害時には地域の方々に配布する計画だ。他金庫からの問い合わせも多く、海外行政機関からの依頼により22カ国の視察団に防災説明会を行うなど、国内外から注目されている。

万一の際に必要な情報を発信し続ける同金庫の活動は、まさに地域を災害から守るための防波堤といえる。

## 【Face to Face 賞】

### 尼崎信用金庫（兵庫県）／環境表彰制度「あましんグリーンプレミアム」

尼崎信用金庫は、環境問題が深刻化するなか、環境改善に寄与する地域の優れた技術や製品・工法、新技術の開発やアイデアが環境文化の創造になることを願い、平成23年8月、創業90周年を機に表彰制度「あましん グリーンプレミアム」を創設した。その目的は、“地域発”の環境改善活動を応援し、広く知ってもらうことである。

自社で開発した技術や製品・工法などが環境改善に寄与し、一定以上の効果をあげている事業者が対象の「環境事業部門」、環境問題を意識した活動などが一般への啓蒙に貢献している法人・個人・団体が対象の「環境活動部門」、環境改善が期待でき、低コストで迅速に実現可能な効果的アイデアが対象の「環境アイデア部門」の3部門からなり、最優秀賞、各部門賞、選考委員会特別賞を選定し表彰する。

この制度は、地元企業や団体・個人の環境改善への意識向上に役立つだけでなく、表彰をきっかけに事業が拡大し、新しい経済活動が開けるなど、地域産業の発展にもつながっている。これまで7回開催し、延べ869件の応募があった。人々の関心の高さも伺え、地域に定着した取り組みとなっている。これらの実績が評価され、29年3月8日、信用金庫で初めて、環境省21世紀金融行動原則の最優良取組事例として「環境大臣賞」を受賞した。

地元に光りを当て、広く社会に情報発信する「あましん グリーンプレミアム」は、人々の夢や希望を育てる、地域活性化への起爆剤にもなっている。

---

## 【地域活性化しんきん運動・優秀賞】

### 大地みらい信用金庫（北海道）／広域連携で地域の魅力を世界へ発信

平成24年12月18日に設立した、北海道東部の食や観光資源の魅力を発信する「K O N S E N（根釧）魅力創造ネットワーク」は、“付加価値向上” “地域全体としての発信力

の向上”を大きなテーマとしている。

競争力のある豊富な資源がありながら、ブランディングが確立できずにいた根室・釧路地域を一体的にアピールするため、産業別の縦割り構造を破り、産学官金の連携を強化。地元企業などに向け、デザイン力やプレゼン力向上で商品の付加価値を高めるセミナーの開催、海外からのニーズを見据えたマーケティング市場調査（ハラル認証や富裕層をターゲットとした中東市場視察、水産資源輸出入の可能性を探るオーストラリア市場視察、香港における商談会出展など）、国内最大級の食の見本市「FOODEX JAPAN（フーデックスジャパン）」への出展―等、水先案内人として積極的に活動している。

近年は、根釧地域が世界に誇る自然やアイヌ文化、野生動物、食などの地域資源をつなぎ、ここにしかない地域資源を体験する「アドベンチャーツーリズム」や、北海道経済産業局委託事業である水産関連資源を新たな観光コンテンツとして活用した、広域観光ネットワーク創出事業「地域中核企業創出支援事業」にも着手している。

冷涼な気候のもとで水産や酪農が育んだ味覚、手つかずのまま今も残る豊かな自然― K O N S E Nには、どこにも負けない資源がある。

地元の人々の強い郷土愛が、活動の土台となっている。

## 【地域活性化しんきん運動・優秀賞】

### 川崎信用金庫（神奈川県）／知的財産活用による中小企業支援

大手企業に蓄積されている特許や技術（知的財産）を取引先中小企業に移転（技術移転）し、新製品開発や製品の付加価値向上、新事業展開に役立てることは、中小企業の付加価値向上や収益拡大の有効な手段の一つ。川崎信用金庫は、川崎市、川崎市産業振興財団、横浜企業経営支援財団と連携して、ものづくりを支えてきた中小製造業と地域の活性化を目指し、「知的財産交流会」の取り組みを開始した。

この交流会は、平成19年に川崎市、川崎市産業振興財団がスタートさせた取り組みで、同金庫は平成25年度より始めた職員の出向を通じて同金庫主催の知財交流会を開催。交流会では大企業などからライセンス（特許権の使用許可）を受けて自社製品を開発した企業の体験談、技術シーズの説明、シーズプレゼン企業との個別面談会などを、企画に応じ組み合わせ実施。その後は、行政と一体となったハンズオン支援を行い、契約、開発段階はもちろん、事業化までを一貫してフォローアップする。具体的には外注先・協力先とのマッチング、補助金、公的試験施設の仲介・紹介などができるように支援体制を整えている。大手企業との双方向により、知財ライセンス契約や協力関係が構築されることで、中小企業自体の信用力向上、知名度向上につながる。

この取り組みは、平成27年には日本弁理士会より「知的財産活用支援大賞」を同市、同財団と連名で受賞、平成29年1月には内閣府より「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例34選」にも選出された。

---

## 【個人賞】

### 長野信用金庫（長野県）高橋 弘一 氏 / 故郷の「<sup>ふるさと</sup>結い<sup>ゆい</sup>」の心を次世代へ

亡き母親の実家がある長野県信濃町は豪雪地帯。毎年、実家へ雪下ろしに何度も通っていた高橋氏。集落には昔から田植え、稲刈り、雪下ろしなど共同で作業する「結い」という相互扶助の制度があり、子どもや若年者は「結い」を通して伝統や手法を学んでいた。しかし、過疎化でその担い手が失われ、周囲には雪下ろしができない高齢者の家が増えていった。そこで高橋氏は、平成2年頃から実家近隣の高齢者宅の雪下ろしも手伝うようになり、今年で27年、今では頼りにされる存在となっている。先人たちの「結い」の心と絆を、微力ながら次の世代につなげたい―。その思いが、活動の原動力になっている。

## 【個人賞】

### 大阪シティ信用金庫（大阪府）櫻井 達哉 氏 / 「枚岡神社秋郷祭」を通じての文化伝承

大阪府東大阪市・額田地区の枚岡<sup>ひらおか</sup>神社では、毎年10月「秋郷祭」が執り行われる。23基の布団太鼓台が各地域を巡り、太鼓や鐘の音が町中に響きわたる。櫻井氏も小学生になると太鼓の叩き手となり、中学生から現在に至るまで太鼓台の担ぎ手として参加。世話役と呼ばれる先輩たちから礼儀作法など多くを学んだ。社会に出てからは額田太鼓台保存会の会員として、布団太鼓台の指導、維持・管理をするほか、地域防犯や神社鎮守の森の保護活動を行っている。これからも、地元で継承される伝統や文化を守り伝えることが、先人と生まれ育ったこの街への最大の恩返しだと考え、活動していく。

## 【個人賞】

### 鹿児島信用金庫（鹿児島県）有田 貴紀 氏 / マジックショーを通じた地域貢献活動

大学生時代に学んだ「手品」を使って、さまざまなボランティア活動に参加していた有田氏は、入庫を機に地域貢献の一助になればと、一段と積極的に活動を開始。当金庫の顧客組織「かしんハッピー会」で手品を披露してからは、評判が各支店に口コミで広がり、地域の夏祭りや慰問活動、取引先企業、経済団体の会などに呼ばれるようになった。東日本大震災後には、有志と共にチャリティーイベントにも参加。今では年間20～30回のマジックショーに出演している。手品は世代を問わず楽しめるコミュニケーションツール。地域の皆さまに笑顔を届ける大事なライフワークになっている。

以 上

< 参 考 > **第 2 1 回「信用金庫社会貢献賞」について**

【創設目的】 地域に生まれ、地域とともに歩む信用金庫の原点を踏まえ、地域の発展に貢献する信用金庫の真摯な姿を広くアピールし、お客様や地域の信頼を揺るぎないものとするとともに、地域での存在感を一段と高めていく。

【対象活動】 信用金庫にふさわしい地域に根ざした活動で、地域振興、社会福祉、芸術・文化支援、史跡・伝統文化保存、交通安全、教育支援、留学生・在日外国人支援、環境保全、各種ボランティア等の地域社会活動および災害救援活動等の分野とする。

【表彰対象】 ・信用金庫および信用金庫役職員（個人・グループ）  
・地区・府県信用金庫協会、中央団体

【選考基準】 活動の継続性（3年以上継続された活動であること。ただし、Face to Face賞の応募活動のうち、その特性から活動期間が必ずしも長期に亘らないもの、地域活性化しんきん運動・優秀賞は除く）、活動目的の社会的意義、地域との一体性（地域に溶け込んだ地域の方々と一体となった取組み）、活動の困難度、援助を受ける側の評価・感謝の度合い、関係者または地域社会に与えた影響、活動内容・方法のユニークさ、などを総合的に判断する。

【応募期間】 平成29年10月1日から12月30日まで

【選考委員】 ※所属等は平成30年3月現在、敬称略

|    |    |                          |
|----|----|--------------------------|
| 石田 | 徹  | 日本商工会議所 専務理事             |
| 島田 | 京子 | 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 専務理事  |
| 高橋 | 陽子 | 公益社団法人 日本フィランソロピー協会 理事長  |
| 野坂 | 雅一 | 読売新聞東京本社 調査研究本部 研究員      |
| 堀田 | 力  | 公益財団法人 さわやか福祉財団 会長       |
| 村本 | 孜  | 成城大学 名誉教授                |
| 佐藤 | 浩二 | 一般社団法人全国信用金庫協会 会長        |
| 柴田 | 弘之 | 信金中央金庫 副理事長              |
| 半澤 | 進  | 一般社団法人全国信用金庫協会 広報委員会 委員長 |

【各賞の内容】

**会 長 賞**・・・活動の社会的意義、地域との一体感、地域社会に与えた影響等を総合的に判断し、Face to Face賞、地域活性化しんきん運動・優秀賞の受賞候補活動の中から最も優れた活動に対し与えるものとする。

**Face to Face 賞**・・・地域金融機関にふさわしい、地域社会に溶け込んだ、地域の方々との一体感を深めることに寄与した活動および地域金融機関の社会貢献活動として今後の取組みが期待され、奨励される活動、ならびにその特性から活動期間が必ずしも長期に亘らないものであっても、環境・社会問題への取組み、災害復旧支援など関係者や地域社会に大きく貢献した活動等に対して与えるものとする。

**地域活性化しんきん運動・優秀賞**・・・中小企業の起業・成長・改善支援等をはじめとする地域の活性化をめざす活動のうち、各々の地域社会の実情と信用金庫の特性に合わせたユニークで、他の範となる活動に対して与えるものとする。

**個 人 賞**・・・個人あるいはグループの取組みで、信用金庫職員として他の範となる活動に対して与えるものとする。